

令和3年(2021年)8月30日

令和3年度(2021年度)全国学力・学習状況調査の結果について

1 結果の概要

■教科に関する調査結果

- ・ 小学校では、国語は全国平均を上回っており、算数は全国平均とほぼ同じ状況にあります。
- ・ 中学校では、国語は全国平均とほぼ同じ状況にあり、数学は全国平均を下回っています。

■質問紙調査結果

- ・ 児童生徒質問紙では、「学校に行くのは楽しい」、「学校で、ICT機器を、他の児童生徒と意見を交換したり、調べたりするために使用している」と回答した割合が、全国平均を上回っています。
また、「新型コロナウイルスの感染拡大で休校していた期間中、勉強について不安を感じた」と回答した割合は、全国平均を下回っています。
- ・ 学校質問紙では、「校長として、教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行った」と回答した割合が、全国平均を上回っています。

2 調査の概要

(1) 調査実施日 令和3年(2021年)5月27日(木)

(2) 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(3) 調査の対象

- ・ 小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年、特別支援学校小学部第6学年の全児童
- ・ 中学校第3学年、義務教育学校後期課程第3学年、特別支援学校中等部第3学年の全生徒

(4) 調査の内容

① 教科に関する調査

- ・ 小学校(国語、算数)
- ・ 中学校(国語、数学)

② 質問紙調査

- ・ 児童生徒に対する調査
- ・ 学校に対する調査

(5) 調査の方式

- ・ 悉皆調査(全員を対象とした調査)

(6) 本県の参加状況(熊本市を含む公立小中学校)

- ・ 小学校333校
- ・ 中学校167校
- ・ 小学校児童 約16,000人
- ・ 中学校生徒 約15,000人

担当 熊本県教育庁市町村教育局義務教育課
課長 竹中(6664) 審議員 藤岡(6651)
熊本県教育庁県立学校教育局高校教育課
課長 重岡(6652) 審議員 石村(6784)

3 教科に関する調査の結果（公立小中学校）

学 年		小学校6年生	
教 科		国 語	算 数
R3	本県	66%	70%
	全国	64.7%	70.2%
R元	本県	65%	66%
	全国	63.8%	66.6%

学 年		中学校3年生		
教 科		国 語	数 学	英 語
R3	本県	64%	55%	
	全国	64.6%	57.2%	
R元	本県	72%	58%	53%
	全国	72.8%	59.8%	56.0%

※表中の数値は平均正答率。県の値は国から整数値で公表。（H29～）

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症に係る学校教育への影響等を考慮し中止。

※中学校の英語は、3年に1回の実施。

4 質問紙調査に関する調査の主な結果（公立小中学校） ※（ ）は全国比

質 問 事 項		小学校		中学校	
		本県	全国	本県	全国
児童生徒	学校に行くのは楽しいと思いますか （「当てはまる」＋「どちらかといえば、当てはまる」の割合）	87.3% (+3.9)	83.4%	85.3% (+4.2)	81.1%
	あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の児童生徒と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか （「ほぼ毎日」＋「週1回以上」の割合）	56.6% (+17.6)	39.0%	51.2% (+16.4)	34.8%
	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか （「当てはまる」＋「どちらかといえば、当てはまる」の割合）	78.3% (+0.0)	78.3%	73.0% (-1.6)	74.6%
	新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか （「当てはまる」＋「どちらかといえば、当てはまる」の割合）	50.6% (-4.6)	55.2%	57.9% (-4.9)	62.8%
	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか （「発表していた」＋「どちらかといえば、発表していた」の割合）	57.7% (-5.8)	63.5%	52.2% (-9.8)	62.0%
	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか （学校の授業の予習や復習を含む） （「当てはまる」＋「どちらかといえば、当てはまる」の割合）	73.0% (-1.0)	74.0%	61.2% (-2.3)	63.5%
学 校	校長として、教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行いましたか （「週に1回程度またはそれ以上」＋「月に数回程度」の割合）	82.3% (+8.4)	73.9%	62.8% (+7.3)	55.5%
	調査対象学年の児童生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか （「そう思う」＋「どちらかといえば、そう思う」の割合）	88.0% (+2.7)	85.3%	83.3% (-2.7)	86.0%

